

令和6年度事業評価結果(課・室)総括表

											会計区分		一般会計													
											課・室名		港湾空港課		(単位:千円)											
事業名	区分	経費区分	福井県長期ビジョン における位置づけ	関連する県の計画等	事業区分			事業 開始 年度	経過 年数	令和 7年度 予算額	財源内訳				評価に基づく今後の対応											
					実行 予算	補助 金	その他				国庫	起債	その他 特定 財源	一般	拡充	継続	整理 統合	縮減	休止	廃止	終期 の見直し	完了	その他	見直し額		
海外クルーズ客船おもてなし事業	継続	政策的経費	2 成長を創る(産業力)		○			H28	10	25,157				25,157		○										
敦賀港モーダルシフト促進事業	継続	政策的経費	2 成長を創る(産業力)			○		R6	2	14,000	5,600			8,400		○										
内貿ポートセールス促進事業	新規	政策的経費	2 成長を創る(産業力)			○		R7	1	4,093	2,046			2,047												
敦賀港鞠山南地区水素関連施設整備事業	継続	政策的経費	3 楽しみを広げる(創造力)	敦賀港港湾脱炭素化推進計画(R7年度中に策定予定)	○			R6	2	330,000	330,000					○										
福井空港利活用推進事業	継続	政策的経費	3 楽しみを広げる(創造力)		○	○		R5	3	20,610			320	20,290				○							20,896	
空港振興委託事業(スカイフェス)	継続	政策的経費	3 楽しみを広げる(創造力)		○			H4	33	4,000				4,000		○										
クルーズ船受入れに向けた航行安全調査	終了	政策的経費	3 楽しみを広げる(創造力)	敦賀港港湾計画	○			R6	1													○			50,000	
					5	3				397,860	337,646			320	59,894		4		1				1			70,896

海外クルーズ客船おもてなし事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内		部局名	土木部		課名	港湾空港課		課長名	鳥山 公裕	
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務			事業区分	■ 実行予算		事業開始年度	H28 年度 経過年数 10 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R7 年度
事業実施方法	委託					□ 法定受託事務				□ 補助金					
補助率	－									□ その他					
福井県長期ビジョン における位置付け	分野〔 2 成長を創る(産業力) 〕 政策〔 8 世界のふくいファンを拡大 〕				関連する県の計画等			〔 〕							
[解決すべき問題・課題] 海外クルーズ客船を受け入れる地区が保安区域となるため、港湾管理者として必要な警備等を行う必要がある。						[問題・課題を表す客観的データ] 国際埠頭施設を一般開放する場合、管理者は当該施設の保安水準を低下させないための措置を講ずる必要がある。 (国際港湾施設の保安対策に関するガイドライン(改定)12章3)									
[事業目的] 海外クルーズ客船の受け入れ態勢を整える															
[事業内容] クルーズ船寄港時対応 ・観光客の安全確保のため岸壁に警備員を配置し、バリケードを設置する。 ・一般観光客の受付業務を行う。															
[受益者] クルーズ船乗船客						[想定される受益者数] 12,500人									
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)				関連事業の有無・ 役割分担			■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)							
市町との連携状況					他県の状況			他県のクルーズ船対応 富山県 クルーズ船受け入れのための施設整備済 wifi設備整備済 警備員配置、バリケード設置 石川県 クルーズ船受け入れのための施設整備済 wifi設備整備済 警備員配置、バリケード設置							

海外クルーズ客船おもてなし事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	土木部	課名	港湾空港課	課長名	鳥山 公裕	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務		■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H28 年度 経過年数 10 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R7 年度
事業実施方法	委託					事業区分						
補助率	－					□ 法定受託事務						
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等					
予算額	25,157				25,157							
[予算額の推移等]												(単位:千円)
区 分			3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	令和7年度予算額の増減理由				
当初予算額の推移			6,239	6,239	3,372	6,043	25,157	寄港予定回数の増(R6年度2回→R7年度10回)				
2月現計予算額の推移			0	3,120	3,372	6,043						
決算額の推移			0	2,759	3,372							
前年度までの 主な増減理由		寄港回数の増減										
[成果指標等の推移]												
区 分			3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠		
成果指標	不法侵入件数	(目標) 実績	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0)					
活動指標	警備員配置人数	(目標) 実績	(20) 0	(20) 20	(20) 20	(20) 20	(20)					
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和7年度の変更点				事業評価				
成果指標を達成 不法侵入件数:0回								□ 拡充	□ 縮減	□ 終期の見直し	見直し額	
								■ 継続	□ 休止	□ 完了		
								□ 整理統合	□ 廃止	□ その他		

敦賀港モーダルシフト促進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	外	部局名	土木部	課名	港湾空港課	課長名	鳥山 公裕	
事業主体	県				事務 区 分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区 分	□ 実行予算	事業 開始 年度	R6 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R9 年度
事業実施方法	補助			■ 補助金								
補助率	1/2等			□ その他								
福井県長期ビジョン における位置付け	分野〔 2 成長を創る(産業力) 〕 政策〔 8 世界のふくいファンを拡大 〕				関連する県の計画等		〔 〕					
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]						
物流2024年問題への対応や脱炭素化の推進のための、陸上輸送から海上輸送への転換						R12年度にはR元年度の貨物輸送量と比較して陸送輸送能力の34.1%が不足 R6年度にはR元年度の貨物輸送量と比較して陸送輸送能力の14.2%が不足						
[事業目的]												
トラックドライバーの時間外労働時間の上限規制の適用により陸送能力が不足する「物流2024年問題」への対応や、脱炭素化の推進を図るため、環境負荷が小さい海上輸送へのモーダルシフトを促進し、敦賀港の集荷・利用拡大を図る。												
[事業内容]												
○内貿航路(コンテナ船・RORO船・フェリー)貨物に対する助成 ・新規で内貿航路を利用する荷主企業・物流事業者に対し、転換経費(海上運賃、国内陸上輸送費、国内荷役料等)の 1/2を支援(上限500千円) ・継続で内貿航路を利用する荷主企業・物流事業者に対し、貨物量を前年度より一定以上増加させた場合、増加した貨物量×1千円/台・TEUを支援(上限1,000千円) ・継続で内貿航路を運航している船社に対し、貨物量を前年度より一定以上増加させる場合、増加した貨物量×4円/台・TEUを支援(上限500千円) ○国際フィーダー貨物に対する助成 ・新規で国際フィーダー航路を利用する荷主企業に対し、転換経費(海上運賃、国内陸上輸送費、国内荷役料等)の 1/2を支援(上限1,000千円) ・当該年度に国際フィーダー貨物を年間50TEU以上利用する荷主企業に対し、(貨物量(TEU)- 50TEU)×5千円/TEUを支援(上限2,000千円(1,000TEU以上の場合5,000千円)) ・取引先荷主企業から新規に国際フィーダー貨物を一定以上集荷した物流事業者に対し、貨物量(TEU) ×10千円/TEUを支援(上限1,000千円) ・新規の国際フィーダー航路を開設した船社に対し、1寄港あたり100千円を支援(上限5,000千円)												
[受益者] 荷主企業・物流事業者・船社						[想定される受益者数] 補助事業者約40社						
前事業の有無・実績	☐ 無 ☒ 有 事業名 敦賀港内航利用拡大事業 (実績) 新規で内貿航路を利用する荷主企業・物流事業者に対し、転換経費(海上運賃、国内陸上輸送費、国内荷役料等)の 1/2を支援(上限200千円) R3実績:15社(補助枠20社) R4実績:19社(補助枠20社) R5実績:25社(補助枠30社)					関連事業の有無・役割分担		☐ 無 ☒ 有 事業名 敦賀港グリーン物流推進事業 (役割分担) 外貿コンテナ貨物を対象に実施(成長産業立地課)				
市町との連携状況						他県の状況		伏木富山港(外貿) 博多港(内貿・外貿) 鹿児島港(外貿) 秋田港(外貿)				

敦賀港モーダルシフト促進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	外	部局名	土木部	課名	港湾空港課	課長名	鳥山 公裕		
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務		事業区分	☐ 実行予算	事業開始年度	R6 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R9 年度
事業実施方法	補助								☒ 補助金				
補助率	1/2等					☐ 法定受託事務			☐ その他				
区分	事業費	国庫	起債	その他		一般財源		国庫、その他財源の名称等					
予算額	14,000	5,600				8,400		電源立地地域対策交付金					
[予算額の推移等] (単位:千円)													
区 分			3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	令和7年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移						16,750	14,000						
2月現計予算額の推移						16,750							
決算額の推移													
前年度までの 主な増減理由													
[成果指標等の推移]													
区 分			3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	取扱貨物量(万トン)	(目標) 実績				(30) 56	(30)	(60)	(120)	・事業実施により増加を目指す貨物量(万トン) ※R6年度実績はR7.2月時点			
活動指標	補助件数	(目標) 実績				(41) 33	(33)			<R7年度活動指標の考え方> ・トライアル支援事業:26件(内貿:25件、フィーダー:1件) ・利用拡大支援事業:4件(内貿:3件、フィーダー1件) ・集荷促進事業等:3件(内貿:1件、フィーダー:3件) ※令和6年度実績はR7.2時点			
[事業の評価]													
前年度の実績・成果指標等の定量的評価					実績を踏まえた令和7年度の変更点					事業評価			
モーダルシフト促進事業により獲得を目指す貨物量をR6年度年間30万トンとしており、R7.2月時点ですでに目標を達成している。					さらなる貨物の獲得を目指すため、新規の国際フィーダー航路を開設した場合においても補助対象とする。					☐ 拡充	☐ 縮減	☐ 終期の見直し	見直し額
										☒ 継続	☐ 休止	☐ 完了	
										☐ 整理統合	☐ 廃止	☐ その他	

内貿ポートセールス促進事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内		部局名	土木部		課名	港湾空港課		課長名	鳥山 公裕
事業主体	敦賀港国際ターミナル(株)				事務区分	■ 自治事務		事業区分	☐ 実行予算		事業開始年度	R7 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R9 年度
事業実施方法	補助					□ 法定受託事務			■ 補助金					
補助率	定額								□ その他					
福井県長期ビジョン における位置付け	分野〔 2 成長を創る(産業力) 〕 政策〔 8 世界のふくいファンを拡大 〕				関連する県の計画等		〔 〕							
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]								
物流2024年問題の影響による陸上輸送から海上輸送への転換						R12年度にはR元年度の貨物輸送量と比較して陸送輸送能力の34.1%が不足 R6年度にはR元年度の貨物輸送量と比較して陸送輸送能力の14.2%が不足								
[事業目的]														
敦賀港国際ターミナル(株)が実施する内貿ポートセールス業務に対して補助を行い、敦賀港の内貿貨物量の増加を図る。														
[事業内容]														
○敦賀港利用促進営業活動 荷主・物流事業者を中心に企業訪問し、意見、要望等を聞くことで企業ニーズの把握、敦賀港利用に関する提案を行い、敦賀港利用につなげる。														
○敦賀港利用セミナー・視察会開催 荷主・物流事業者向けのセミナーや視察会を実施し、敦賀港やインセンティブ制度のPRを行い、敦賀港利用につなげる。														
○大規模展示会等への出展 2024年問題やカーボンニュートラルなどモーダルシフトが推進される中、国内企業に幅広く敦賀港を周知し、新規利用につなげるため、国内で開催される展示会に出展し、敦賀港のPRを行う														
[受益者] 荷主企業、物流事業者、船社等						[想定される受益者数] 約300社								
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)				関連事業の有無・役割分担		□ 無 ■ 有 事業名 ポートセールス促進事業(成長産業立地課) (役割分担) 敦賀港国際ターミナル(株)が実施する外貿ポートセールス業務に対する補助等							
市町との連携状況					他県の状況									

内貿ポートセールス促進事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	土木部	課名	港湾空港課	課長名	鳥山 公裕		
事業主体		敦賀港国際ターミナル(株)			事務 区 分	■ 自 治 事 務		事業 区 分	☐ 実行予算	事業 開始 年度	R7 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R9 年度
事業実施方法		補助							■ 補 助 金		経過年数		
補助率		定額				☐ 法 定 受 託 事 務			☐ そ の 他		1 年		
区分	事業費		国庫		起債		その他		一般財源		国庫、その他財源の名称等		
予算額	4,093		2,046						2,047		新しい地方経済・生活環境創生交付金(第2世代交付金)		
[予算額の推移等] (単位:千円)													
区 分			3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	令和7年度予算額の増減理由					
当 初 予 算 額 の 推 移							4,093						
2 月 現 計 予 算 額 の 推 移													
決 算 額 の 推 移													
前年度までの 主な増減理由													
[成果指標等の推移]													
区 分			3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	取扱貨物量(千トン)	(目標) 実績					(600)			対前年比の敦賀港の取扱貨物量増加量			
活動指標	企業訪問件数	(目標) 実績					(25)			荷主等への営業訪問			
[事業の評価]													
前年度の実績・成果指標等の定量的評価					実績を踏まえた令和7年度の変更点					事業評価			
										☐ 拡充	☐ 縮減	☐ 終期の見直し	見直し額
										☐ 継続	☐ 休止	☐ 完了	
										☐ 整理統合	☐ 廃止	☐ その他	

敦賀港鞠山南地区水素関連施設整備事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内		部局名	土木部		課名	港湾空港課		課長名	鳥山 公裕
事業主体	県				事務 区 分	■ 自治事務			事業 区 分	■ 実行予算	事業 開始 年度	R6 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R10 年度
事業実施方法	委託					□ 法定受託事務				□ 補助金				
補助率	－									□ その他				
福井県長期ビジョン における位置付け	分野〔 3 楽しみを広げる(創造力) 政策〔 10 交流を広げる基盤整備				関連する県の計画等			〔 敦賀港湾湾脱炭素化推進計画(R7年度中に策定予定) 〕						
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]								
敦賀港における温室効果ガス排出量の削減						敦賀港内の温室効果ガス排出量:約2,500t(H25年度)								
[事業目的]														
敦賀港内における脱炭素化に向けた取り組みをリードしていくことを目的として、鞠山南地区で新たに整備するガントリークレーン使用にかかる電力を水素電源で賄う														
[事業内容]														
ガントリークレーン使用にかかる電力を水素電源で賄うため、鞠山南地区において自立型水素電源(水素燃料電池、蓄電池等)を整備 令和6年度:燃料電池および蓄電池等の施設整備のための詳細設計を実施 令和7年度～10年度:施設整備 令和8年度～:一部施設で実証開始(新ガントリークレーンに電気供給開始)														
[受益者] 荷主企業、物流事業者、船社等						[想定される受益者数] 約300社								
前事業の有無・実績	□ 無 ■ 有 事業名 水素電源導入に関する事業可能性調査(エネルギー課) (実績) エネルギー課で水素電源導入に関する事業可能性調査(FS調査)を実施(R5 年6月補正予算)				関連事業の有無・ 役割分担			■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)						
市町との連携状況					他県の状況									

敦賀港鞠山南地区水素関連施設整備事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	土木部	課名	港湾空港課	課長名	鳥山 公裕		
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務		事業区分	■ 実行予算	事業開始年度	R6 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R10 年度
事業実施方法	委託					□ 法定受託事務			□ 補助金				
補助率	－								□ その他				
区分	事業費		国庫	起債	その他		一般財源		国庫、その他財源の名称等				
予算額	330,000		330,000						エネルギー構造高度化・転換理解促進事業費補助金				
[予算額の推移等] (単位:千円)													
区 分				3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	令和7年度予算額の増減理由				
当初予算額の推移							51,000	333,000	工事工程計画に併せて増				
2月現計予算額の推移							51,000						
決算額の推移													
前年度までの 主な増減理由		工事工程計画に併せて増											
[成果指標等の推移]													
区 分				3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠		
成果指標	水素電源によるガントリークレーンの稼働 実績						-	-	-	-	水素電源によるガントリークレーンの稼働		
活動指標	事業進捗率(%) 実績						(5)	(37)	(100)	(100)	(当該年度までの事業費)／(全体事業費)		
[事業の評価]													
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和7年度の変更点					事業評価				
詳細設計を実施				工事工程計画に併せて整備を実施					□ 拡充	□ 縮減	□ 終期の見直し	見直し額	
									■ 継続	□ 休止	□ 完了		
									□ 整理統合	□ 廃止	□ その他		

福井空港利活用推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内		部局名	土木部		課名	港湾空港課		課長名	鳥山 公裕	
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務			事業区分	■ 実行予算		事業開始年度	R5 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R9 年度
事業実施方法	補助、負担金、直営					□ 法定受託事務				■ 補助金					
補助率	定額									□ その他					
福井県長期ビジョン における位置付け	分野〔 3 楽しみを広げる(創造力) 〕 政策〔 10 交流を広げる基盤整備 〕				関連する県の計画等			〔 〕							
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]									
・多様な形態の航空機による空港の利活用 ・地元住民の理解促進						・R1年度(コロナ禍前)着陸回数の51.8%がグライダー ・空港ビル:S41年竣工、築59年経過									
[事業目的]															
福井空港の商業利用への挑戦やプライベート利用の促進を行うとともに、地域に親しまれる空港の実現に向けた取り組みを進め、利活用を推進していく															
[事業内容]															
○商業利用・プライベート利用の促進 ・航空機運航促進事業(航空機の回送経費を支援) ・プライベート利用の促進(日本ビジネス航空協会を通じた福井空港のPR等)															
○地元住民利用の促進 ・県民を対象とした小型ジェット機・ヘリ遊覧飛行の実施															
[受益者] 福井空港を利用する事業者、県民						[想定される受益者数] 補助事業利用者13件、遊覧飛行搭乗ペア32組									
前事業の有無・実績	□ 無 ■ 有 事業名 小型ジェット機による福井空港利活用促進事業 (実績) 【令和3～4年度】 ・ビジネスでの活用:1回 ・婚活での活用:12回				関連事業の有無・ 役割分担			□ 無 ■ 有 事業名 空港振興委託事業(スカイフェス) (役割分担) スカイフェス:隔年で開催する大規模な機運醸成イベント 福井空港利活用推進事業:体験搭乗等により地元住民が日常的に空港を訪れる機会を創出							
市町との連携状況					他県の状況										

福井空港利活用推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	土木部	課名	港湾空港課	課長名	鳥山 公裕		
事業主体	県				事務 区 分	■ 自治事務		事業 区 分	■ 実行予算	事業 開始 年度	R5 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R9 年度
事業実施方法	補助、負担金、直営					□ 法定受託事務			■ 補助金		経過年数		
補助率	定額								□ その他		3 年		
区分	事業費	国庫	起債	その他		一般財源		国庫、その他財源の名称等					
予算額	20,610			(諸) 320		20,290							
[予算額の推移等] (単位:千円)													
区 分			3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	令和7年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移					19,933	41,506	20,610	事業内容見直しによる減					
2月現計予算額の推移					19,933	41,506							
決算額の推移					19,933								
前年度までの 主な増減理由		福井空港ビル再整備構想策定にかかる費用の増											
[成果指標等の推移]													
区 分			3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	自律的な商業利用の回数	(目標) 実績	4	4	7	(1) 1	(1) 1	-	-	観光やビジネスを中心とした自律的な商業利用の開始			
活動指標	事業実施による着陸回数	(目標) 実績			(44) 53	(59) 79	(82)	-	-	R7年度指標の考え方 航空機運航促進事業:13回、プライベート機等:55回、県民向け遊覧飛行: 14回			
[事業の評価]													
前年度の実績・成果指標等の定量的評価					実績を踏まえた令和7年度の変更点				事業評価				
R6年度福井空港利活用推進事業による着陸回数実績は計79回である、活動指標を達成した。 航空機運航促進事業:11回 プライベート機等(小型機、ヘリ含む):50回 県民向け遊覧飛行:18回					スカイフェス開催のため、地元住民向けイベント(フライトシミュレーター等)の実施を見送り				□ 拡充	■ 縮減	□ 終期の見直し	見直し額	
									□ 継続	□ 休止	□ 完了	20,896	
									□ 整理統合	□ 廃止	□ その他		

空港振興委託事業(スカイフェス)

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内		部局名	土木部		課名	港湾空港課		課長名	鳥山 公裕	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務			事業 区分	■ 実行予算		事業 開始 年度	H4 年度 経過年数 33 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R7 年度
事業実施方法	負担金					□ 法定受託事務				□ 補助金					
補助率	－									□ その他					
福井県長期ビジョン における位置付け	分野〔 3 楽しみを広げる(創造力) 政策〔 10 交流を広げる基盤整備				関連する県の計画等			〔							
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]									
福井空港の利活用促進						福井空港利用状況 R元:3,436件、R2:2,120件、R3:2,696件、R4:3,384件、R5:4,487件									
[事業目的]															
福井空港の商業利用への挑戦やプライベート利用の促進を行うとともに、地域に親しまれる空港の実現に向けた取り組みを進め、利活用を推進していく															
[事業内容] 福井空港におけるイベント開催 ①スカイイベント 小型ビジネスジェット機のデモ飛行・機内見学会、防災航空隊の救助訓練の実演、グライダーの曲技飛行 ②体験イベント セスナ・ヘリコプター遊覧飛行、ドローンスクール体験入校・展示販売、ランウェイウォーク、セスナ機ライセンス取得講座＆相談会、ANA現役CAによるお仕事紹介講座 ③地上イベント JAXAによる研究開発の展示、航空機の展示、嶺北消防署による消防車等の展示、坂井警察署による展示、ターミナルビルでのコンサート、バルーンアート等 ④飲食・物販コーナー キッチンカー、坂井市商工会女性部、地元商店ほか、空港関連グッズの販売															
[受益者] スカイフェス来場者						[想定される受益者数] 約8,000人									
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)				関連事業の有無・ 役割分担			□ 無 ■ 有 事業名 福井空港利活用推進事業 (役割分担) スカイフェス:隔年で開催する大規模な機運醸成イベント 福井空港利活用推進事業:体験搭乗等により地元住民が日常的に空港を訪 れる機会を創出							
市町との連携状況					他県の状況			富山県 富山きときと空港「空の日」記念イベント 石川県 小松空港「空の日」フェスタ のと里山空港「空の日」フェスタ							

空港振興委託事業(スカイフェス)

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	土木部	課名	港湾空港課	課長名	鳥山 公裕		
事業主体	県				事務 区 分	■ 自 治 事 務		■ 実行予算 □ 補 助 金 □ そ の 他	事業 区 分	事業 開始 年度	H4 年度 経過年数 33 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R7 年度
事業実施方法	負担金												
補助率	－												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等						
予算額	4,000				4,000								
[予算額の推移等] (単位:千円)													
区 分			3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	令和7年度予算額の増減理由					
当 初 予 算 額 の 推 移			4,000		4,000		4,000	平成22年より隔年開催					
2 月 現 計 予 算 額 の 推 移			1,002		4,000								
決 算 額 の 推 移			1,002		4,000								
前年度までの 主な増減理由		隔年で開催。R3はコロナの影響により中止											
[成果指標等の推移]													
区 分			3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	空港に関する県民の理解促進 (目標) 実績									スカイフェス開催の主目的であり、成果指標の設定にそぐわない			
活動指標	スカイフェス来場者数 (目標) 実績		(10,000) 0		(10,000) 8,000		(10,000)						
[事業の評価]													
前年度の実績・成果指標等の定量的評価					実績を踏まえた令和7年度の変更点					事業評価			
										□ 拡充	□ 縮減	□ 終期の見直し	見直し額
										■ 継続	□ 休止	□ 完了	
										□ 整理統合	□ 廃止	□ その他	

クルーズ船受入れに向けた航行安全調査

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	土木部	課名	港湾空港課	課長名	鳥山 公裕
事業主体	県	事務区分	事業区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	R6 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R6 年度	
事業実施方法	委託										
補助率	－										
福井県長期ビジョン における位置付け	分野〔 3 楽しみを広げる(創造力) 政策〔 10 交流を広げる基盤整備	関連する県の計画等		〔 敦賀港港湾計画							
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]					
敦賀港におけるクルーズ船の受入に適した受入箇所の確保						これまでクルーズ船の受入を実施してきた鞠山北地区は、石炭貨物の集積や、市街地から遠いといった課題がある					
[事業目的]											
景観がよく市街地から近い鞠山南地区や金ヶ崎地区でのクルーズ船の受入れにより、寄港回数の増加を目指す											
[事業内容]											
クルーズ船に対応した施設整備および客船受入れ体制検討のための、航行安全調査の実施 <対象岸壁> ・敦賀港鞠山南岸壁 ・敦賀港金ヶ崎岸壁											
[受益者] スカイフェス来場者						[想定される受益者数] 約8,000人					
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	□ 無 ■ 有 事業名 (役割分担)				
市町との連携状況						他県の状況	他県のクルーズ船対応 富山県 クルーズ船受け入れのための施設整備済 wifi設備整備済 警備員配置、バリケード設置 石川県 クルーズ船受け入れのための施設整備済 wifi設備整備済 警備員配置、バリケード設置				

クルーズ船受入れに向けた航行安全調査

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	土木部	課名	港湾空港課	課長名	鳥山 公裕		
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務		事業区分	■ 実行予算	事業開始年度	R6 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R6 年度
事業実施方法	委託												
補助率	－												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等						
予算額													
[予算額の推移等] (単位:千円)													
区 分			3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	令和7年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移						50,000							
2月現計予算額の推移						50,000							
決算額の推移													
前年度までの 主な増減理由													
[成果指標等の推移]													
区 分			3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	(目標) 実績									令和7年度から、従前とは異なる岸壁(鞠山南、金ヶ崎)におけるクルーズ船の受入を開始			
活動指標	航行安全調査の実施	(目標) 実績				(2) 2				航行安全調査の実施:2カ所(鞠山南、金ヶ崎)			
[事業の評価]													
前年度の実績・成果指標等の定量的評価					実績を踏まえた令和7年度の変更点				事業評価				
鞠山南地区、金ヶ崎地区においてクルーズ船の受け入れが可能となった									□ 拡充	□ 縮減	□ 終期の見直し	見直し額	
									□ 継続	□ 休止	■ 完了	50,000	
									□ 整理統合	□ 廃止	□ その他		

令和6年度事業評価結果(課・室)総括表

											会計区分		特別会計													
											課・室名		港湾空港課		(単位:千円)											
事業名	区分	経費区分	福井県長期ビジョン における位置づけ	関連する県の計画等	事業区分			事業 開始 年度	経過 年数	令和 7年度 予算額	財源内訳				評価に基づく今後の対応											
					実行 予算	補助 金	その他				国庫	起債	その他 特定 財源	一般	拡充	継続	整理 統合	縮減	休止	廃止	終期 の見直し	完了	その他	見直し額		
敦賀港鞠山南地区2期工事	継続	政策的経費	3 楽しみを広げる(創造力)		○			H27	11	915,840		915,000		840		○										
敦賀港新多目的クレーン整備事業	継続	政策的経費	3 楽しみを広げる(創造力)		○			R3	5	576,400		576,000		400		○										
敦賀港鞠山南地区ガントリークレーン整備事業	継続	政策的経費	3 楽しみを広げる(創造力)	敦賀港港湾計画	○			R5	3	759,000		759,000				○										
敦賀港港湾機能施設整備事業(ふ頭用地の再編・整備)	新規	政策的経費	3 楽しみを広げる(創造力)	敦賀港港湾計画	○			R7	1	70,000		70,000														
川崎松栄でのクルーズ船受入れに向けた計画策定	新規	政策的経費	2 成長を創る(産業力)	敦賀港港湾計画	○			R7	1	13,022			13,022													
					5					2,334,262		2,320,000	13,022	1,240		3										

敦賀港鞠山南地区2期工事

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内		部局名	土木部		課名	港湾空港課		課長名	鳥山 公裕	
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務			事業区分	■ 実行予算		事業開始年度	H27 年度 経過年数 11 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R10 年度
事業実施方法	直営					□ 法定受託事務				□ 補助金					
補助率	－									□ その他					
福井県長期ビジョン における位置付け	分野〔 3 楽しみを広げる(創造力) 政策〔 10 交流を広げる基盤整備				関連する県の計画等			〔							
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]									
敦賀港の心頭用地不足の解消						・内航フェリー、内航ROROの貨物量の拡大(147万tの増加→3.3ha必要) ・新規企業の利用(木質チップ)による貨物量の増加(25万t→3.5ha必要)									
[事業目的]															
敦賀港の心頭用地不足を解消し、港湾機能の強化を図る															
[事業内容]															
鞠山南地区多目的国際ターミナルにおいて、心頭用地を整備 (整備内容) 心頭用地造成 10.2ha(県事業) (参 考) －14m岸壁 L=280m(直轄事業) － 9m岸壁 L=200m(直轄事業)															
[受益者] 荷主企業、物流事業者、船社等						[想定される受益者数] 約300社									
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)				関連事業の有無・ 役割分担			■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)							
市町との連携状況					他県の状況			伏木富山港 －14m岸壁 金沢港 －13m岸壁 舞鶴港 －14m岸壁							

敦賀港鞠山南地区2期工事

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	土木部	課名	港湾空港課	課長名	鳥山 公裕		
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務		事業区分	■ 実行予算	事業開始年度	H27 年度 経過年数 11 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R10 年度
事業実施方法	直営					□ 法定受託事務			□ 補助金				
補助率	－								□ その他				
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等						
予算額	915,840		915,000		840		公営企業債						
[予算額の推移等] (単位:千円)													
区 分			3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	令和7年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移			1,151,160	1,333,480	461,100	574,520	915,840	工事工程計画に併せて増					
2月現計予算額の推移			1,091,000	1,133,000	480,000	574,520							
決算額の推移			530,046	1,531,129	342,365								
前年度までの 主な増減理由		工事工程計画に併せた増減											
[成果指標等の推移]													
区 分			3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	ふ頭用地供用面積(ha)	(目標) 実績	(0) 0	(0) 0	(5.5) 5.5	(5.5) 5.5	(5.5)	(10.2)	(10.2)	令和10年度完成を目標に整備			
活動指標	事業進捗率(%)	(目標) 実績	(45) 45	(55) 54	(58) 58	(62) 62	(69)	(100)	(100)	(当該年度までの事業費)／(全体事業費)			
[事業の評価]													
前年度の実績・成果指標等の定量的評価					実績を踏まえた令和7年度の変更点				事業評価				
成果指標を達成 ・ふ頭用地の埋立および舗装、護岸の整備を実施 ・令和5年11月にふ頭用地5.5haを供用開始					工事工程計画に併せて整備を実施				□ 拡充	□ 縮減	□ 終期の見直し	見直し額	
									■ 継続	□ 休止	□ 完了		
									□ 整理統合	□ 廃止	□ その他		

敦賀港新多目的クレーン整備事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内		部局名	土木部		課名	港湾空港課		課長名	鳥山 公裕	
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務			事業区分	■ 実行予算		事業開始年度	R3 年度 経過年数 5 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R7 年度
事業実施方法	直営					□ 法定受託事務				□ 補助金					
補助率	－									□ その他					
福井県長期ビジョン における位置付け	分野〔 3 楽しみを広げる(創造力) 〕 政策〔 10 交流を広げる基盤整備 〕				関連する県の計画等			〔 〕							
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]									
平成3年の供用開始から30年が経過し、クレーン全体の腐食や老朽化が進んでおり、今後多額の修繕費が必要となってくる						老朽化しており、修繕費が増加 H30:104,600千円、R元:123,400千円、R2:40,000千円、R3:10,000千円 R4.6クレーンが故障し荷役に支障が発生									
[事業目的]															
クレーンに多額の修繕費用が必要となる前に更新を行うとともに、現多目的クレーンとの2基体制によりバックアップ体制を確保する															
[事業内容]															
新多目的クレーンの整備 ・基本設計 ・詳細設計・受電設備等設計 ・製作・据付															
[受益者] 荷主企業、物流事業者、船社等						[想定される受益者数] 約300社									
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)				関連事業の有無・ 役割分担			■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)							
市町との連携状況					他県の状況			金沢港 ガントリークレーン(平成17年、30年) 新潟港 ガントリークレーン(平成20年)							

敦賀港新多目的クレーン整備事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	土木部	課名	港湾空港課	課長名	鳥山 公裕		
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務		事業区分	■ 実行予算	事業開始年度	R3 年度 経過年数 5 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R7 年度
事業実施方法	直営					□ 法定受託事務			□ 補助金				
補助率	－								□ その他				
区分	事業費		国庫	起債	その他		一般財源		国庫、その他財源の名称等				
予算額	576,400			576,000			400		公営企業債				
[予算額の推移等] (単位:千円)													
区 分			3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	令和7年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移			10,600	13,780	590,000	1,008,000	576,400	工事工程計画に併せて増					
2月現計予算額の推移			10,600	13,780	550,000	1,020,000							
決算額の推移			10,288	13,594	550,000								
前年度までの 主な増減理由		工事工程計画に併せて増減											
[成果指標等の推移]													
区 分			3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	新規供用クレーン基数	(目標) 実績	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(1)	(1)	(1)	令和7年度供用開始を目標に整備			
活動指標	事業進捗率(%)	(目標) 実績	(1) 1	(2) 2	(27) 27	(76) 73	(100)	(100)	(100)	(当該年度までの事業費)／(全体事業費)			
[事業の評価]													
前年度の実績・成果指標等の定量的評価					実績を踏まえた令和7年度の変更点				事業評価				
クレーン本体製作を実施した					工事工程計画に併せて整備を実施				□ 拡充	□ 縮減	□ 終期の見直し	見直し額	
									■ 継続	□ 休止	□ 完了		
									□ 整理統合	□ 廃止	□ その他		

敦賀港鞠山南地区ガントリークレーン整備事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内		部局名	土木部		課名	港湾空港課		課長名	鳥山 公裕	
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務			事業区分	■ 実行予算		事業開始年度	R5 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R8 年度
事業実施方法	直営					□ 法定受託事務				□ 補助金					
補助率	－									□ その他					
福井県長期ビジョン における位置付け	分野〔 3 楽しみを上げる(創造力) 政策〔 10 交流を広げる基盤整備						関連する県の計画等		〔 敦賀港湾計画						
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]									
新規航路開設等による貨物量の増加 バックアップ体制の確立						目標:88,000TEU→現状:25,760TEU(R4実績) クレーンの復旧まで約13ヶ月を要し、その間バルク貨物の荷役時間は通常の約1.5倍									
[事業目的]															
港湾計画で定めるコンテナ貨物量や船舶規模に対する荷役体制を整える。															
[事業内容]															
ガントリークレーンの整備 ・詳細設計・受電設備等設計 ・製作・据付															
[受益者] 荷主企業、物流事業者、船社等						[想定される受益者数] 約300社									
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)				関連事業の有無・ 役割分担			■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)							
市町との連携状況					他県の状況			金沢港 ガントリークレーン(平成17年、30年) 新潟港 ガントリークレーン(平成20年)							

敦賀港鞠山南地区ガントリークレーン整備事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	土木部	課名	港湾空港課	課長名	鳥山 公裕		
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務		事業区分	■ 実行予算	事業開始年度	R5 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R8 年度
事業実施方法	直営					□ 法定受託事務			□ 補助金				
補助率	－								□ その他				
区分	事業費		国庫	起債	その他		一般財源		国庫、その他財源の名称等				
予算額	759,000			759,000					公営企業債				
[予算額の推移等] (単位:千円)													
区 分			3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	令和7年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移					31,800	510,000	759,000	工事工程計画に併せて増					
2月現計予算額の推移					31,800	430,000							
決算額の推移					31,800								
前年度までの 主な増減理由		工事工程計画に併せて増減											
[成果指標等の推移]													
区 分			3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	新規供用クレーン基数	(目標) 実績			(0) 0	(0) 0	(0)	(1)	(1)	令和9年度供用開始を目標に整備			
活動指標	事業進捗率(%)	(目標) 実績			(2) 2	(30) 27	(76)	(100)	(100)	(当該年度までの事業費)／(全体事業費)			
[事業の評価]													
前年度の実績・成果指標等の定量的評価					実績を踏まえた令和7年度の変更点				事業評価				
クレーン本体製作に着手した					工事工程計画に併せて整備を実施				□ 拡充	□ 縮減	□ 終期の見直し	見直し額	
									■ 継続	□ 休止	□ 完了		
									□ 整理統合	□ 廃止	□ その他		

敦賀港港湾機能施設整備事業(ふ頭用地の再編・整備)

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	土木部	課名	港湾空港課	課長名	鳥山 公裕	
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	R7 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R10 年度
事業実施方法	直営											
補助率	－											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野〔 3 楽しみを広げる(創造力) 政策〔 10 交流を広げる基盤整備				関連する県の計画等		〔 敦賀港港湾計画 〕					
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]						
貨物の集約化による港湾物流機能の強化						コンテナ・RORO貨物やフェリー・バルク貨物の分散						
[事業目的]												
敦賀港港湾計画に基づき、鞠山南地区のターミナル拡張による外貿・内貿のコンテナ・RORO貨物の集約化と、鞠山北地区のフェリー・バルク貨物の集約化を行い、港湾物流機能の強化を図る												
[事業内容]												
フェリー貨物の取扱い用地:鞠山北地区 ヤード照明設備、立入防止フェンス(SOLAS)設置 バルク移転先の取扱い用地:鞠山北地区 野積場における可燃性バルク(PKS)の取扱いに伴う消防設備等 バルク移転後の取扱い用地:鞠山南地区 ふ頭用地の舗装改良(水溜まり、路面凹凸、粉塵飛散等の解消)												
[受益者] 荷主企業、物流事業者、船社等						[想定される受益者数] 約300社						
前事業の有無・実績	☒ 無 ☐ 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担		☒ 無 ☐ 有 事業名 (役割分担)				
市町との連携状況						他県の状況						

敦賀港港湾機能施設整備事業(心頭用地の再編・整備)

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	土木部	課名	港湾空港課	課長名	鳥山 公裕		
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務		事業区分	■ 実行予算	事業開始年度	R7 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R10 年度
事業実施方法	直営					□ 法定受託事務			□ 補助金				
補助率	－								□ その他				
区分	事業費		国庫	起債	その他		一般財源		国庫、その他財源の名称等				
予算額	70,000			70,000					公営企業債				
[予算額の推移等] (単位:千円)													
区 分			3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	令和7年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移							70,000						
2月現計予算額の推移													
決算額の推移													
前年度までの 主な増減理由													
[成果指標等の推移]													
区 分			3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	再編完了	(目標) 実績								再編完了			
活動指標	事業進捗率(%)	(目標) 実績					(14)	(100)	(100)	(当該年度までの事業費)／(全体事業費)			
[事業の評価]													
前年度の実績・成果指標等の定量的評価					実績を踏まえた令和7年度の変更点					事業評価			
										□ 拡充	□ 縮減	□ 終期の見直し	見直し額
										□ 継続	□ 休止	□ 完了	
										□ 整理統合	□ 廃止	□ その他	

川崎松栄でのクルーズ船受入れに向けた計画策定

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	土木部	課名	港湾空港課	課長名	鳥山 公裕
事業主体	県				事務 区分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務	事業 区分	☒ 実行予算 ☐ 補助金 ☐ その他	事業 開始 年度 R7 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R7 年度
事業実施方法	直営										
補助率	－										
福井県長期ビジョン における位置付け	分野〔 2 成長を創る(産業力) 〕 政策〔 8 世界のふくいファンを拡大 〕					関連する県の計画等		〔 敦賀港港湾計画 〕			
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]					
川崎松栄でのクルーズ船受入れ体制の確保						クルーズ寄港回数の増加や鞠山南地区へのコンテナ貨物集約による、クルーズ受入れの制約					
[事業目的]											
川崎松栄でのクルーズ船受入れに向けた、川崎松栄BC岸壁におけるクルーズ船の受入計画作成											
[事業内容]											
川崎松栄BC岸壁におけるクルーズ船の受入計画作成 (係留施設(係船柱、防舷材)の改良検討、受入可能な船舶の検討、受入レイアウトの作成)											
[受益者] クルーズ船乗船客						[想定される受益者数] 12,500人					
前事業の有無・実績	☒ 無 ☐ 有 (実績)	事業名				関連事業の有無・役割分担		☒ 無 ☐ 有 (役割分担)	事業名		
市町との連携状況						他県の状況					

川崎松栄でのクルーズ船受入れに向けた計画策定

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	土木部	課名	港湾空港課	課長名	鳥山 公裕		
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務		事業区分	■ 実行予算	事業開始年度	R7 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R7 年度
事業実施方法	直営					□ 法定受託事務			□ 補助金				
補助率	－								□ その他				
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等						
予算額	13,022			(繰入) 13,022									
[予算額の推移等] (単位:千円)													
区 分			3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	令和7年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移							13,022						
2月現計予算額の推移													
決算額の推移													
前年度までの 主な増減理由													
[成果指標等の推移]													
区 分			3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	川崎松栄でのクルーズ受入れ (目標) 実績												
活動指標	受入計画作成 (目標) 実績						(1)	(1)	(1)				
[事業の評価]													
前年度の実績・成果指標等の定量的評価					実績を踏まえた令和7年度の変更点					事業評価			
										□ 拡充	□ 縮減	□ 終期の見直し	見直し額
										□ 継続	□ 休止	□ 完了	
										□ 整理統合	□ 廃止	□ その他	